

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

目次

はじめに	1
沿革	2
寄付件数等一覧	3
本部	4
北陸支部	16
東海支部	20
東京支部	26
岐阜支部	29
中日青葉学園	36
あおば館(児童養護施設)	41
わかば館(児童心理治療施設)	44
子育て短期支援事業	52
社会福祉充実計画	53
地域における公益的取り組み	54
高額寄託者・一般	55
高額寄託者・指定	57

はじめに

社会福祉法人中日新聞社会事業団は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部と児童福祉施設「中日青葉学園あおば館」、児童心理治療施設「中日青葉学園わかば館」(どちらも愛知県日進市)の運営など幅広い活動を行っています。

法人創立80周年を記念し作製したイメージキャラクター「ロボラ」も少しずつ浸透し、新たなグッズも作製し、法人のイメージアップとPRに大活躍しました。社会福祉事業の見直しも引き続き行い、特に児童福祉分野への支援を充実しました。

未曾有の大震災から9年が経ち、被災地域のニーズにより柔軟に対応する為、現地で活動する団体に「東日本復興支援金」で支援するとともに、今年度は10月に発生した台風19号による被災地への支援も行いました。義援金については中日新聞社に協力するという形でしたが、少しずつ定着してきたと感じています。

新しい年号「令和」となり、支援した事業も例年より増加し、アールブリュットなど新しい分野の事業も見られました。一方で、令和2年になり、感染拡大している新型コロナウイルスの感染防止により中止や延期となった事業も多数ありました。また来年度開催予定だったオリンピック・パラリンピックの延期もあり、来年度の事業支援への影響も更に大きいものになると思われます。

より支援を必要とする団体などとの連絡も密にし、実情にあった支援を行っています。

日頃より、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、透明性のある法人運営、事業展開を通じ、一層地域に根ざした社会福祉法人を目指していきます。

令和2年5月

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和11年12月設立の財団法人名古屋新聞善行会、翌年4月設立の社団法人新愛知社会事業団から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間228件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年 7月	財団法人「名古屋新聞善行会」と社団法人「新愛知社会事業団」が合併し、社団法人「中部日本弘徳会」を設立
昭和21年12月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和26年 2月	同「中部日本新聞岐阜社会事業団（後に中日新聞岐阜社会事業団に改称）」を設立
昭和34年 1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年 4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年 7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年 1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年 6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年 3月	日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、中日青葉学園全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年 3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年 4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年 5月	社団法人「中日新聞岐阜社会事業団」解散 中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)として設立
平成12年 6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に児童心理治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年 3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年 4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える
平成28年10月	中日青葉学園園舎内外塗装工事
平成29年	事業団創立80周年を迎える

《主な災害義援金》

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～31年3月31日	95,339件	9,088,915,451円
☆熊本地震義援金	平成28年4月15日～6月30日	13,932件	1,091,554,693円
☆九州北部豪雨災害義援金	平成29年7月11日～7月31日	2,025件	75,293,523円
☆西日本豪雨義援金	平成30年7月10日～8月10日	9,240件	529,263,200円

事業件数

	主催	共催	後援	合計	中止・延期
本部	6	21	134	161	8
北陸支部	5	1	1	7	
東海支部	9	0	8	17	1
東京支部	0	1	6	7	
岐阜支部	4	5	24	33	0
合計	24	28	173	225	9

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本部		北陸支部		東海支部		東京支部		岐阜支部		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	318	185,093,235	52	455,443	22	2,171,078	9	258,574	40	2,716,574	441	190,694,904
年末助け合い	253	20,327,740	30	584,922	72	3,779,918	49	1,183,418	55	1,944,618	459	27,820,616
指定寄付金	270	24,726,424	23	415,417	15	590,871	107	1,823,852	50	1,377,880	465	28,934,444
合計	841	230,147,399	105	1,455,782	109	6,541,867	165	3,265,844	145	6,039,072	1,365	247,449,964

主な災害義援金と指定寄付金累計

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～令和2年3月31日)

	件数	金額
本部	902	67,644,090
北陸支部	11	355,417
東海支部	18	487,194
東京支部	153	5,733,069
岐阜支部	174	4,582,220
合計	1258	78,801,990

〈中日新聞社への協力〉

・令和元年台風19号義援金（10月16日～11月15日） 件数：6,634件 金額：259,360,432円

イメージキャラクター「ロボラ」



80周年を記念して、制作したイメージキャラクター「ロボラ」です。

困っている人に手を差し伸べる、心優しきコアラ型ロボットヒーロー！

体には人助けのためのあらゆる機能が搭載されている。とっても温厚で、おっとりした性格。しかし困っている人がいたら、どんなことがあってもたすける！と心に誓っています。

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、令和元年度は160件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援し、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

(1) 児童福祉施設等支援事業

・第41回音楽の集い・豊川大会（11月17日・豊川市文化会館）

日頃の練習成果を発揮するとともに、音楽や劇などを通じて児童同士の交流を深めることを目的に開催した。22施設の子どもと職員ら約400人が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会



ダンスを披露する子どもたち

・第62回福祉施設「海の家」（7月22日～30日・篠島海水浴場＝南知多町）

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。20施設延べ約470人の児童が参加した。

主催：名古屋市、

名古屋市社会的養育施設協議会



海で遊ぶ子どもたち

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業（音楽の集い、運動会など）に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

(2) 第16回名古屋市老人福祉施設作品展

（11月13日～17日・名古屋市民ギャラリー矢田）

名古屋市内の老人福祉施設を利用している方々が趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行った。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子どもたちを励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



励ます集いで歓談する交通遺児たち

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌースクール

(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を励ます
集い

b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第8回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム

(2月10日・ホテルメルパルク名古屋)

「2040年の超少子高齢・人口減少社会を見つめて」をテーマに、住まい、移動手段などについてシンポジウムや活動報告を実施した。福祉関係者や関心のある人約250人が参加した。

共催：愛知県社会福祉協議会



会場の様子

d. その他

・第11回福祉の星フォーラム（11月24日・中日新聞本社6階ホール）

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。タレントの新田恵利さんによる講演とともに日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約150人が参加し、交流も深めた。



講演する新田恵利さん

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

（2）社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第69回児童園遊会（5月12日・東山動植物園）

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童約150人と保護者を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（愛知・岐阜・三重県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月8日・岐阜市民会館）、三重（11月10日・津リージョンプラザお城ホール）、愛知（11月24日・ウィルあいち）、各県2名、計6名に贈呈した。



三重県の受賞者

b. 障がい者

・第57回特別支援教育展「きらめき展」(1月21日～26日・名古屋市博物館)

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「はばたけ 令和」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室などで学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品を展示した。



展示会場

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会

・第24回長良川ふれあいマラソン大会(10月6日・木曽三川公園)



スタート時の参加者

障がい者と健常者が共に参加できるマラソン大会。ふれあいを図り、障がい者福祉についての関心を深めることを目的に実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に関東、関西地区などから約800人が参加した。

共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第36回郷土の美術家100人展」

(12月3日～5日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立てている。



長谷川喜久先生と作品

・年末助け合い運動

(11月25日～12月27日・中日新聞支社、総・支局、通信部・局)

年末の約1ヶ月をキャンペーン期間とし、253件、20,327,740円が寄せられた。愛知、岐阜、三重各三県の生活保護家庭の小中学生にお年玉を贈るほか、福祉事業に助成した。



年末助け合い運動をPRするドアラ

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第41回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて5,507人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,500円、中学生2,500円)を贈呈した。(昭和54年から継続)



岐阜県知事

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛 知 県	924	1,386,000	578	1,445,000	1,502	2,831,000
岐 阜 県	237	355,500	153	382,500	390	738,000
三 重 県	501	751,500	354	885,000	855	1,636,500
名 古 屋 市	1,507	2,260,500	891	2,227,500	2,398	4,488,000
合 計	3,169	4,753,500	1,976	4,940,000	5,145	9,693,500

▽第63回東海地区特別支援教育振興資金贈呈

(6月11日・中日新聞名古屋本社)

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第45回難病患者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金(2,797,685円)を計20の難病患者団体に贈呈した。

愛知県8団体(10月2日)、岐阜県6団体(10月4日)、三重県5団体(10月16日)。



難病患者激励金贈呈

県	団 体 名	県	団 体 名
愛知	愛知県難病団体連合会	岐阜	岐阜県難病団体連絡協議会
	全国パーキンソン病友の会愛知県支部		岐阜県肝炎の会
	つぼみの会愛知・岐阜 愛知支部(一型糖尿病)		日本リウマチ友の会岐阜支部
	日本ALS協会愛知県支部(筋萎縮性側索硬化症)		岐阜県ヘモフィリアの会(岐友会)
	ブラダー・ウィリー症候群児・者親の会竹の子の会西東海支部		岐阜県筋ジストロフィー協会
	日本オストミー協会愛知県支部	三重	NPO法人三重難病連
	愛知県網膜色素変性症協会(JRPS愛知)		MS三重
			三重県乾癬の会
			みえalsの会
			日本リウマチ友の会三重支部

(3) 災害援護に関する事業

・令和元年台風19号義援金

10月12日に上陸した台風19号で被害のあった地域を支援する義援金の受け付けを中日新聞社と協力し行った。本部に寄せられた義援金は、5,204件、196,141,587円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて259,360,432円を各県に贈った。

県	金 額
福島県	81,360,432円
栃木県	34,000,000円
千葉県	34,000,000円
長野県	34,000,000円
宮城県	28,000,000円
茨城県	15,000,000円
神奈川県	9,000,000円
岩手県	7,000,000円
埼玉県	7,000,000円
東京都	4,000,000円
群馬県	3,000,000円
静岡県	2,000,000円
三重県(伊勢市、鳥羽市、志摩市)	1,000,000円

・東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を平成26年8月に創設。第5回目として下記の12団体に贈った。

団体名	所在地
(一社)震災こころのケア・ネットワークみやぎ からこころステーション	宮城県石巻市
チャイルド工房	宮城県石巻市
東北大学陸前高田応援サークルぽかぽか	仙台市
(一社)復興みなさん会	宮城県本吉郡南三陸町
富谷傾聴の会	仙台市
(一社)ワタマスマイル	宮城県石巻市
ARTS for HOPE	仙台市
NPO法人南相馬サイエンスラボ	福島県南相馬市
NPO法人チームふくしま	福島県福島市
いいのどんぐりの会	福島県福島市
NPO法人パクト	岩手県陸前高田市
NPO法人陸前高田まちづくり協働センター	岩手県陸前高田市

事業一覧

(本 部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主 催 者	会 場
4/1～ 令和2年3/31	東日本復興支援金贈呈の件	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
4/12～14	第20回陶展 第17回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	東桜会館
4/13～ 5/26	平成31年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/14	第39回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	知立市福祉体育館ほか
4/20	第9回ジョギングフェスティバル	後援	(公社)スペシャルオリンピックス日本・愛知	パロマ瑞穂レクリエーション 広場ほか
4/20～ 令和2年3/15	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福)名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/21	チャリティーマラソン in 庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/24～ 11/21	第16回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	パロマ瑞穂スタジアムほか
5/5～6	第50回中日本グランドソフトボール大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/12	第69回児童園遊会	共催	名古屋市、(福)名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/19	全国一斉あそびの日キャンペーン 「ファミリーからだあそびフェスタ」	後援	NPO法人アイディアC体創協会	春日井市総合体育館
5/19	日本リウマチ友の会愛知支部第56回大会	後援	(公)日本リウマチ友の会愛知支部	電気文化会館
5/24～26	第24回なごや大収集まつり	後援	日本貨幣商協同組合	ウインクあいち
5/25～26	第19回全国障害者スポーツ大会車いすバスケット ボール競技北陸・東海ブロック予選	後援	東海北陸車いすバスケットボール連盟	津産業スポーツセンター
5/26	第11回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車いすツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
5/26	第34回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家 後援会	サマリヤハウス(名古屋市)ほか
5/30～6/1	第22回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2019～	後援	名古屋国際見本市委員会	ポートメッセなごや
6/1	第55回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	のんほいパーク(豊橋市)
6/2	第54回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	福井県
6/4～ 元年12/20	平成31年度面接教育相談事業	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/6～9/6	地域レクリエーション教室(心身障害者療育キャンプ)	後援	(一財)三重県知的障害者育成会	和歌山県ほか
6/8～23	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	(株)偕拓堂ギャラリー美術の森 (岐阜県)
6/10	平成30年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室
6/16	東海特別支援教育カンファレンス2019	後援	東海特別支援教育カンファレンス実行委員会	日本福祉大学東海キャンパス
6/22	第11回福祉セミナー	後援	(福)昭徳会	法音寺 開山堂(名古屋市)
6/23	2019年度東海北陸ブロック車いすバスケットボール 定期大会前期富山大会	後援	東海北陸車いすバスケットボール連盟	滑川市総合体育センター
6/23、11/10 元年2/2	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県スポーツ会館
6/23	平成31年度全国膠原病友の会愛知県支部 総会・医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市総合社会福祉会館7階
6/29	第4回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾パール卓球クラブ	西尾市中央体育館

7/1～ 12/5	第33回ふれあいフォトコンクール	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7/1	名古屋少年友の会更生保護行事	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院ほか
7/6～7	令和元年度療育事業(キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	ロイヤルホテル能登(石川県)
7/7	ソーシャルワーカーデー2019 in あいち	共催	ソーシャルワーカーデーinあいち実行委員会	愛知県立大学長久手キャンパス
7/7	第36回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	小牧勤労センター
7/8	令和元年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財)岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/20	第12回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/20	子どもセンター「パオ」13周年記念イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館 イーブルなごや
7/21～ 8/31	平成31年度高校生ボランティア活動並びに体験文募集	後援	(福)中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/21	愛知県肝友会第38回定時総会及び記念療育相談会	後援	愛知県肝友会	増子記念病院 第3会議室
7/22	第62回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市社会的養育施設協議会	篠島海水浴場
7/25～26	第41回東海北陸地区特別支援教育研究大会	後援	岐阜県特別支援教育研究部会ほか	じゅうろくプラザ(岐阜市)ほか
8/1～2	第48回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会三重大会	後援	東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究会ほか	三重県総合文化センター
8/1～ 令和2年3/31	第60回名古屋市立小中学校特別支援学級・特別支援学校連合運動会準備の件	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会	
8/2～ 12/15	第28回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、AICHI高校生交流会	津島市文化会館ほか
8/3	講演会 未来を創る学びとは？みんなで考える「すべての子ども」の学びを保障するには～	後援	インクルーシブあいちプロジェクト	中区役所ホール
8/4	アートセラピーを学ぼう。講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会	東別院会館
8/6	第90回子どものための遊び方研究会	後援	中部日本生涯活動協会	愛知県共済生活協同組合8階大ホール
8/6	サマーカヌースクール	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡(滋賀県)
8/9～13	第46回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/11～13	親子なかよしキャンプ	後援	NPO法人愛知県自閉症協会・つぼみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/17～22	第47回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	蒲郡ホテル別館
8/17～23	第34回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/17～18	第37回昭和区の福祉まつり ①シンポジウム ②本まつり	後援	第37回昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所
8/19～20	夏だ！海だ！篠島だ！家庭養護の仲間たちで作る離島自然体験活動	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	篠島 浜辺の宿大舟
8/19	令和元年度愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とばね運動場
8/21	令和元年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター
8/24～25	2019愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA (第62回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会	名古屋市東山公園テニスセンター
8/25～ 12/1	青少年の自立支援事業「トライアルキャンプ2019」	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
8/27～29	第65回全国盲女性研修大会(名古屋大会)	後援	名古屋市視覚障害者協会ほか	ウインクあいち
8/30～31	第55回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 第18回日本精神保健福祉士学会学術集会	後援	(公財)日本精神保健福祉士協会	名古屋国際会議場

8/30	第1回名古屋コインショー	後援	日本貨幣商協同組合	ウインクあいち
9/1	2019年度東海北陸ブロック車いすバスケットボール 前期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
9/1	第43回チャリティー民謡藤栄会発表会	後援	民謡藤栄会	日本特殊陶業市民会館
9/1	令和元年度愛盲文芸大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	明生会館(豊橋市)
9/1	令和元年成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
9/7～8	TOYOTA U25日本車いすバスケットボール選手権 大会2019	後援	東海北陸ブロック車いすバスケットボール連 盟ほか	スカイホール豊田
9/10～ 12/10	第67回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/15	第37回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会ほか	北スポーツセンター
9/12～13	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	飛騨古川
9/23	第37回チャリティー優利民謡会発表会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館ビレ ジホール
9/26	愛知県精神保健福祉の増進に関する ネットワークづくり実施事業	後援	NPO法人愛知県精神障害者家族会連合会	愛知県白壁庁舎ほか
9/28～ 12/1	企画展「山本良比古-緻密な風景を描いた“虹の絵師”」	共催	高浜市やきものの里かわら美術館	高浜市やきものの里かわら美 術館・刈谷市美術館
9/30～ 10/6	令和元年度作品展「てをつなぐ」	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ここにこ
10/2	第47回東海レディス・プラザチャリティー・バザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE 6 階クリ エイトホール
10/5	生き生き長寿フェア2019	後援	愛知県、(福)愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/6	第43回'19愛のフェスティバル	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉 会館・ひろ場
10/6	第24回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曽三川公園特設会場
10/6	第31回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者スポーツセン ター体育館
10/9～15	第71回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	(福)愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル1階 プラザウエーブ21
10/16～ 11/23	第75回ボランティアスクール	後援	(福)あさみどりの会	さわらび園(名古屋市)
10/20	第45回文化祭	後援	名古屋市視覚障害者協会	名身連福祉センター
10/25	きょうされん第42回全国大会 in あいち	後援	きょうされん	名古屋国際会議場
10/26	日本てんかん協会第46回全国大会三重大会	後援	(公社)日本てんかん協会ほか	三重大学
10/26	第30回名古屋市精神障害者家族交流事業 「晴れ とときどき虹」	後援	NPO法人名古屋市精神障害者家族連合会	中区役所ホール
10/26	第7回成人発達障害支援学会	後援	成人発達障害支援学会	金城学院大学
10/27	第18回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
10/27	名古屋城パディウォーク2019	後援	名古屋すまいるマイル	名古屋城二之丸広場
10/27	第12回名古屋アドベンチャーマラソン	後援	ナゴヤアドベンチャーマラソン実行委員会	名古屋市庄内緑地公園
10/29	第62回東海車いすテニス大会 in 四日市	後援	三重県車いすテニス協会	四日市テニスセンター
10/30	第67回愛知県社会福祉大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県国際展示場 「AichiSkyExpo」
11/2	16th AJUワインフェスタ in 多治見修道院	共催	(福)AJU自立の家ほか	神言会多治見修道院

11/2	第6回キッズネットワーク宿泊イベント in 愛知	後援	NPO法人高次脳機能障害友の会みずほキッズプラス	愛知県美浜少年自然の家
11/4	NPO法人愛知県難病団体連合会第47回大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウインクあいち
11/6	第1回合同企業説明会 ～働きたい障がいのある方とつながる機会に～	後援	LITLICOワークス豊橋	MSASHi Innovation Lab CLUE (豊橋市)
11/7	第12回全国精神保健福祉家族会 みんなねっと愛知大会	後援	愛知県精神障害者家族会連合会ほか	刈谷市総合文化センターほか
11/10	第65回東海車椅子ツインバスケットボール定期大会 岐阜大会	後援	東海車いすツインバスケットボール委員会	大垣市総合体育館
11/10	令和元年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)三重県母子寡婦福祉連合会	津リージョンプラザお城ホール
11/13～17	第16回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/15	第52回愛知県視覚障害者福祉大会(稲沢大会)	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	名古屋文理大学文化フォーラム
11/15	第12回健康づくりウォーキング	後援	(公社)名古屋市老人クラブ連合会	東山公園一万歩コース
11/15	第56回全国聾学校卓球大会愛知大会	後援	全国聾学校体育連盟	一宮総合体育館DIADORAアリーナ
11/16	第57回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	名古屋市公会堂
11/16	全国重症心身障害児(者)を守る会 第31回東海・北陸ブロック大会	後援	重症心身障害児(者)を守る会 東海・北陸ブロック	ウインクあいち
11/17	第64回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福)名古屋市身体障害者福祉連合会	中区役所ホール
11/17	第41回音楽の集い「豊川大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、 (福)愛知県社会福祉協議会	豊川市文化会館
11/17	第17回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	(一財)岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター長良川競技場
11/23	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会	中区役所ホール
11/24	令和元年度愛知県母子寡婦福祉研修大会	後援	(福)愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/24	令和元年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	中日新聞本社6階ホール
11/25～ 12/27	令和元年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
12/3～5	中日新聞年末助け合いチャリティー 第35回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/3～7	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	メニコンANNEXギャラリーMenio (名古屋市)
12/4	第24回中部善意銀行年末たすけあい チャリティーバザー	後援	(福)中部善意銀行	名鉄百貨店本店
12/5	令和元年度地域共生社会推進セミナー	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	アイリス愛知
12/6～8	尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/7～8	愛知県社会的養護自立支援事業「自立セミナー」	主催	中日新聞社会事業団	ウィルあいち
12/7～15	こまきアールブリュット障害者アート展	後援	小牧市	小牧市まなび創造館
12/8	第37回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者)福祉団体連絡協議会ほか	愛知県社会福祉会館
12/8	第59回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社)愛知県身体障害者福祉団体連合会 碧南市身体障害者福祉協会	碧南市文化会館
12/8	第3回名美歳末チャリティー茶会	後援	名古屋美術商協同組合	名古屋美術倶楽部
12/8	第17回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
12/8	こころの健康フェスティバル2019	後援	一宮市地域精神障がい者家族会「びわの会」	シビックホール(一宮市)

2/14	冠地情/成瀬毅講演会「生きるということ」	後援	NPO法人アップル・シード	瀬戸蔵
12/19	生きづらさを抱えた子と画家さんのワークショップと絵画展	後援	NPO法人ハッピーラボ	ララストジオ(名古屋市)
12/19～22	第21回日本ボッチャ選手権大会	後援	(一社)日本ボッチャ協会	スカイホール豊田
12/21	日本特殊陶業(株)がお贈りする第7回ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
12/21	ISOGAI花火劇場 in NAGOYA ～次世代を担う子供たちに美しい花火を～	後援	名古屋港冬花火実行委員会	名古屋港ガーデン埠頭
12/21	第25回東海地区特別支援学校知的障害教育サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	ウェーブスタジアム刈谷
12/22	2019中日青葉学園招待スケート教室	共催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	名古屋スポーツセンター
12/22	第53回交通遺児を励ます大会	後援	(公社)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/22	名古屋少年少女合唱団が贈る チャリティクリスマスコンサート	後援	名古屋少年少女合唱団	三井住友海上しらかわホール
12/22	地球組コンサート2019“君の夢 音楽館”	後援	少年少女合唱団 地球組	日本特殊陶業市民会館
12/23	山口修平氏から学ぶ“生教育”社会的養護下にいる子どもの理解とその対応 ～施設養護、家庭養護協働型社会～	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	篠島 浜辺の宿大舟
12/24	第12回名古屋市児童養護施設フットサル大会 (決勝トーナメント)	後援	名古屋市社会的養護施設協議会	武田テバオーシャンアリーナ
12/25	令和元年度第10回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会	武田テバオーシャンアリーナ
1/18～19	令和元年度第17回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/21～26	第57回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
1/25	ファミリーホームの子どもたちスキー体験教室	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	木曽福島スキー場
1/26	第16回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
2/2	サーベ・フェタナさん講演会	後援	ガールスカウト愛知県第55団	表山コミュニティーセンター
2/2	難病・疾病患者・家族の生活・療養一斉相談会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	東別院会館
2/2	令和元年度第34回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場および 周辺道路
2/4～9	第54回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、 (福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/10	第8回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	(福)愛知県社会福祉協議会	メルパルク名古屋
2/18	パネル・ディスカッション 「居場所を見つけた子どもたち－虐待を生き抜いて－	後援	NPO法人なごやかサポートみらい	ウィルあいち
2/18～21	社会福祉法人名古屋市をつなぐ育成会 アート支援事業美術展	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	熱田区役所講堂
2/19～ 3/19	第40回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財)愛知県セルプセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前 ほか
2/11	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	ウィルあいち
2/23	第35回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会 ※中止	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセン ター
2/23	RDD(Rare Disease Day)2020 in あいち	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	金山南ビルイベントスペース
2/23	ジネンカフェvol.137多様性の時代に生命はなぜ優劣 を求められる～私たちの内なる優生思想を越えて	後援	NPO法人まちの縁側育くみ隊	名古屋市総合社会福祉会館
2/24	認知症のひとと家族の会愛知県支部「40周年記念講演 会」※中止	後援	(公社)認知症のひとと家族の会愛知県支部	ウインクあいち
2/29	第3回全国里母の集い in あいち ～輝いて!!! ありのままで～	後援	愛知県里親会連合会	岡崎ニューグランドホテル

3/1	第38回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい※中止	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会 (福)愛知県社会福祉協議会	蒲郡市民会館
3/8	第26回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2020※中止	後援	愛知県フロアバレーボール協会	ドルフィンズアリーナ 愛知県体育館
3/20	第18回日本ブラインドテニス中部日本大会※中止	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンター
3/21	若宮正子氏講演会「これからの時代を生きるには」 ※中止	後援	NPO法人ささえあい	名古屋国際センター
3/22	第49回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/24	第38回愛知動作療法療育キャンプ※中止	後援	愛知動作療法療育親の会(めだか会)ほか	坂井温泉湯本館(常滑市)
3/28	陶芸教室/卒業卒園お祝い品贈呈式	共催	愛知県ファミリーホーム協議会	中日新聞社北館ホール
3/29	三重県アールブリュット&ミュージックブリュット “自由から世界が始まるART2019”※中止	後援	NPO法人希望の園	三県教育文化会館

本部や中日新聞北陸本社、富山主幹支局と緊密な連携をとりながら各県内の関係機関、団体などの協力を得て令和元年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学（職）支援（3月3日・石川県内児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として今年度も実施した。

県内にある児童養護施設8施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち25人に新生活の準備に役立ててもらおう。

(2) 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動（11月25日～12月27日・石川県内）

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、30件、584,922円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設6施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

・あすなろ親の会（ひきこもりを考える会）例会（月1回・石川県内各所）

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月1回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

・「第40回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今年も参加記念品を贈った。

b. その他

・2019年度 中日ボランティア賞

(表彰式：12月14日・ANAクラウンプラザホテル金沢)

石川、富山県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動をしている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」（成人対象）と「中日あおば賞」（青少年対象）を統合し、今回で12回目。

各県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから多数の推薦があり、社内外の選考会で26件（石川14件、富山12件）が選ばれ、受賞者に賞額、記念品を贈った。

後援：石川県、富山県、二県教育委員会、二県社会福祉協議会、金沢市教育委員会



受賞者の皆さま

・乳児院に図書カード贈呈（7月19日・石川県内）

石川県内の乳児院2カ所に、1施設あたり20,000円の図書カードを贈呈。

・「新・大トリックアート展」児童養護施設招待（7月22日・石川県内）

7月31日から8月18日開催の「新・大トリックアート展」（めいてつ・エムザ）に、石川県内の児童養護施設に入所している子ども達を招待。

(3) 災害援護に関する事業

・東日本復興支援金

東日本大震災の被災地で、保健・福祉の向上に関する事業を行う団体に対し助成を行うための支援金を受け付け。支部では11件、355,417円が集まった。

・たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けし、支部では12件、60,000円が集まった。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
7/19	乳児院図書カード贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
7/22	「新・大トリックアート展」児童養護施設招待	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
11/23	第40回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/25～ 12/27	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/14	2019年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
令和2年 3/3	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、令和元年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・児童養護施設入所者をプロ野球公式戦へ招待 ※雨天中止

(7月5日・浜松球場)

浜松市内の児童養護施設2カ所の入所者ら計28名をプロ野球公式戦「中日ドラゴンズ vs 東京ヤクルトスワローズ」に招待する予定だったが、当日は雨で中止。用意していた応援グッズは次年度へ持ち越す。

- ・浜松市内児童福祉施設入所者に「浜松恐竜ワールド」招待券を贈呈

(7月8日・浜松市役所)

浜松市内の母子支援施設1カ所、児童養護施設3カ所の入所者らに、浜松市こども家庭部を通じて招待券を贈呈し、7月27日から9月1日までの開催期間中、会場のアクトシティ浜松展示イベントホールに196名が訪れた。

- ・第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会(8月22日・湖西市みなと運動公園)

静岡県内の児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈った。
主催：静岡県児童養護施設協議会

- ・浜松市内児童福祉施設入所者の小学校

新入学児童にランドセル贈呈

(3月13日・児童養護施設和光寮)

児童養護施設和光寮からの要望を受け、令和2年度に小学校へ入学する児童3人(男児1人、女児2人)にランドセルを贈った。



ランドセルをもらって喜ぶ子ら＝浜松市で

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

・第42回静岡県ボランティア研究集会

(2年2月9日・島田市民総合施設プラザおおるりほか)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくり強化を目的とした集会。会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

・第20回東海地区盲学校フロアバレーボール大会

(7月13日・静岡県草薙総合運動場「このはなアリーナ」)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の盲学校・視覚特別支援学校の生徒によるフロアバレーボール大会。技術や体力向上をめざし、また生徒同士の交流と親睦を図る目的で開催。大会を後援し、参加賞のタオルを贈った。

主催：東海地区盲学校体育連盟

・第33回静岡オレンジマラソン大会

(11月22日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場・静岡市)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障がい者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO法人静岡県作業所連合会・わ

b. その他

・第36回中日ボランティア賞 (贈呈式=10月17日・ホテルコンコルド浜松)

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より25件の推薦があった。

受賞7団体（静岡県西部3団体、中部4団体）を選考委員会で決定。

10月17日、ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状と奨励金（1団体150,000円）を贈った。



第36回中日ボランティア賞贈呈式＝浜松市

・年末助け合い運動（11月25日～12月27日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は77件、総額で3,779,918円となった。

・年末助け合い

第38回ふるさと知名人チャリティー色紙展

（11月30日、12月1日・遠鉄百貨店イ・コ・イ スクエア6階ギャラリー・ロゼ）

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家・漫画家など）から、色紙作品の寄贈を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購入（一部入札あり）、その収益金を寄付金とする主催事業。

中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店の協力を得て開催。経費を除いた収益金（1,060,000円）の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月19日に静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第38回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月16日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生168人（浜松市134人、湖西市2人、磐田市10人、袋井市14人、掛川市5人、菊川市2人、森町1人）に、激励の意を込め図書カード1人5,000円分を贈った。

お礼状には、高校受験やテストに備えて参考書を買ったと書いている生徒が多く、図書カードを有益に使っている様子がうかがえた。

・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

(2月10日・静岡県西部地区))

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童49人(浜松市37人、湖西市1人、磐田市3人、袋井市6人、掛川市1人、菊川市1人)に図書カード1人3,000円分を贈った。保護者からのお礼状には絵本や図鑑を購入したとの声や、覚えてたのひらがなでありがとうと書かれた新入学児童直筆のものもあった。

・浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈(3月6日・浜松市内)

令和元年度に中学校を卒業する浜松市内の交通遺児3人に、卒業祝いと激励の意を込めて、高校で使用頻度の高い電子辞書を贈呈した。浜松市子ども家庭部から情報提供を受け、直接郵送。

・社会福祉事業資金造成 第36回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

(3月18日・豊岡国際カントリークラブ)

新型コロナ感染予防策を講じた上で豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー基金とし、102,000円の社会福祉事業資金が集まった。

・寿会ゴルフ大会(毎月1回・豊岡国際カントリークラブ)

高齢のゴルフ愛好者で構成される寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。
主催：豊岡国際カントリークラブ

・第30、31回スズキビジネスチャリティゴルフ大会

(7月3日、12月11日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース))

地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募る目的で開催しており、本大会を後援した。
主催：株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会

・静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成(5月・静岡県)

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。
主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

(3) 災害援護に関する事業

・災害義援金

甚大な被害を出した台風19号の義援金を、中日新聞東海本社に協力し受付業務を行った。10月16日～11月15日の受付期間中に104件6,315,601円が寄せられた。預かった義援金は本部を通じて被災各自治体の災害対策本部などに配分された。

また、東日本復興支援金には今年度も11件364,489円が寄せられた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
31年4月～ 2年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/3	第30回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
7/5	浜松市内児童養護施設入所者をプロ野球公式戦へ招待 ※雨天中止	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松球場
7/8	浜松市内児童福祉施設入所者に「浜松恐竜ワールド」 招待券を贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	招待券贈呈=浜松市役所 特別展会場=アクトシティ浜松 展示イベントホール
7/13	第20回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	静岡県草薙総合運動場 「このはなアリーナ」(静岡市)
8/22	第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/17	第36回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松 (浜松市)
11/22	第33回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場(静岡市)
11/25～ 12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか 静岡県内
11/30、 12/1	第38回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店イ・コ・イ スクエア6階 ギャラリー・ロゼ(浜松市)
12/11	第31回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/16	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/9	第42回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会ほか	島田市民総合施設 プラザおおるりほか
2/10	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
3/6	浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市内
3/13	児童養護施設入所の小学校新入学児童にランドセル 贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	児童養護施設和光寮 (浜松市)
3/18	社会福祉事業資金造成 第36回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)

東京支部

本部および中日新聞東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇社会福祉事業

年末助け合い運動募金で寄せられた寄付のうち、一部を関東地方の乳児院に助成を行うための配分委員会設立に向けた準備を行った。

◇公益事業

（１）社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者福祉事業

・第23回全日本IDバレーボール選手権大会

（8月10・11日・千葉県浦安市運動公園総合体育館）

東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。参加チームから各1名にベストプレイヤー賞を贈呈した。

b. その他

・東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

埼玉県と千葉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンに活動費用の一部を助成する準備を行った。

・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月明子代表）に本年も48万円を助成した。8回目。

・年末助け合い運動

11月25日から12月27日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に49件、1,183,418円の善意が寄せられた。乳児院への助成については配分委員会を立ち上げ、より公平性を期するための準備を行った。

(2) 災害援護に関する事業

・たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的・精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は11件、70,000円。

・東日本復興支援事業

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島三県の行政ではできない復興支援活動への寄託を実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた支援金は92件、1,584,852円。

・台風19号義援金

東北、関東、東海の各地方を襲った豪雨被害の被災者支援のため、10月16日から11月15日まで中日新聞社と共同で義援金を受け付けた。東京支部へ寄せられた義援金は860件、14,213,692円。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1～3/31	NPO法人「レイブクライシスセンターTSUBOMI」助成	共催	中日新聞社会事業団東京支部	東京都内
4/1～3/31	第22回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞東京本社(東京新聞)	東京新聞紙上
8/10～ 8/11	第23回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	千葉県浦安市運動公園総合体育館
9/25～ 9/27	第46回国際福祉機器展H.C.R.2019	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト
10/14	2019グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞東京本社(東京新聞)ほか	駒沢オリンピック公園および陸上競技場
11/22	2019日本点字図書館チャリティコンサート	後援	(社福)日本点字図書館	東京文化会館小ホール
2/22～ 3/28	「アジアの風」河合健太郎木版画展	後援	ギャラリーレストラン Japan Dining18	ギャラリーレストラン Japan Dining18
11/25～ 12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京新聞の発行エリア

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。「中日新聞社会事業団岐阜支部だより」を岐阜県版の毎週木曜日に掲載し、共催・後援・支援事業の告知に努めた。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・第2回中日ロボラぎふ就学（職）支援金贈呈式

(2月20日贈呈式・中日新聞岐阜支社)



岐阜県児童福祉協議会井上会長に目録贈呈

昨年度に引き続き、県内の児童養護施設に入所している高校3年生に対し、大学や専門学校への進学及び就職など新生活に向けての準備を支援するため、1人3万円を支給した。

今年度の対象者：23名

・社会福祉施設花いっぱい運動

事業計画策定後に、協力団体の辞退があり開催を取りやめた。

◇公益事業

(1) 保健医療電話相談事業支援

共催事業として、「中日新聞社会事業団岐阜支部だより」（毎週木曜日岐阜県版掲載）を通じて告知し、募集の支援を行った。

〈主な相談内容〉

・心の病家族電話相談（毎週火、木曜日）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に電話相談窓口を開設し、精神疾患の方及びその家族の支援を行った。（年間100回実施）

共催：NPO法人 岐阜県精神保健福祉連合会

・薬物依存症医療電話相談（毎月第2水曜日）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として薬物依存症患者に対しての電話相談を行った。（年間10回）

共催：NPO法人 岐阜ダルク

・介護者のつどい（岐阜市・大垣市・土岐市・高山市など県内11ヶ所）

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内11ヶ所で年間121回開催。

※身近に相談できる「認知症カフェ」も各地で開設された。

共催：（公社）認知症の人と家族の会岐阜県支部

（2）講演会・講座の開催、支援事業

a. 講演会

・慢性腎臓病対策 市民講座「医療講演」を後援

（9月8日・多治見市総合福祉センター、11月24日・大垣ソフトピアジャパンセンタービル）

主催：NPO法人 岐阜県腎臓病協議会

b. 講座

・「要約筆記講習会」を後援（10月20日・岐阜市民福祉活動センター）

主催：NPO法人 ぎふ要約筆記サークルかがり火

c. その他

・「ぎふ吃音のつどい」を後援（6月16日・岐阜市ハートフルスクエアG）

主催：岐阜言友会

・「岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭」を後援（9月23日・大垣市総合福祉会館）

主催：（一社）岐阜県視覚障害者協会

・「聞こえサポートフェア」及び「聴覚障害者の学習会」を後援

（8月25日・可児市中恵土地区センター）

（10月27日・多治見市総合福祉センター）

主催：NPO法人 ぎふ難聴者協会

・「ふれあいアートステーションぎふ」（障害者の作品展）を後援

（8月20日～9月2日、11月12日～25日、1月21日～2月3日）

（岐阜中日ビル2階アートカフェ中日茶房）

主催：（一社）岐阜県身体障害者福祉協会

- ・「岐阜ダルクチャリティーコンサート」を後援

(11月24日・カトリック岐阜教会)

主催：NPO法人 岐阜ダルク

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 障がい者支援事業

- ・第17回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（共催）

(11月17日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)



障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び、障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。

共催：(一社)岐阜県身体障害者スポーツ協会

連携：本部

- ・第19回CPサッカー全日本選手権大会を後援

(10月5日・6日、長良川球技メドウ)

CP(脳性まひ者7人制)サッカーの認知度を高め、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性まひ者のサッカークラブの全国大会を開催。日本CPサッカー協会会長は、岐阜在住であり大会を後援し、支援した。

主催：(一社)日本CPサッカー協会

- ・岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会を後援

(9月29日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

岐阜県内の特別支援学校(盲学校・聾学校を含む)17校の高等部の生徒たちが、トラック競技やフィールド競技の大会記録を目指す陸上競技大会。大会を後援し、盾・賞状・参加賞を提供した。

主催：岐阜県特別支援学校体育連盟、岐阜県教育委員会

- ・岐阜県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会を後援

(12月1日・岐阜県百年記念公園)

岐阜県内の特別支援学校高等部の生徒が、男子の部・女子の部・混合の部でたすきをつなぎ、学校対抗の団結と社会性を高めることを目的に開催。大

会を後援し、盾・賞状・参加賞を提供した。

主催：岐阜県特別支援学校体育連盟、岐阜県教育委員会

・岐阜県身体障害者飛騨ブロック体育大会を後援

(9月29日・高山市久々野総合運動場)

主催：岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会 等

・岐阜県身体障害者中濃地区体育大会を後援(10月27日・可児市総合運動場)

主催：岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会 等

・東海地区盲学校第26回球技(ゴールボール)大会を後援

(11月16日・岐阜盲学校・岐阜中央中学校)

東海4県の盲学校(愛知2校・静岡2校・岐阜・三重の6校)の球技(ゴールボール)大会を後援。本年は4校参加で実施。

主催：東海地区盲学校体育連盟

・第28回中部手話スピーチコンテスト(共催)

(11月17日・中部学院大学各務原キャンパス)



聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、愛知県・岐阜県の高校生を中心に、中学生から社会人が出場。愛知・三重・岐阜県への社告を掲載し、中部地方最大の手話スピーチコンテストとして開催した。

共催：中部学院大学、(一社)岐阜県聴覚障害者協会

b. 子育て支援事業

・岐阜市の母子家庭 東京ディズニーリゾートバス旅行を後援

(8月23日～25日・東京ディズニーリゾート)

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に夏休みの思い出作りを目的に、岐阜社会福祉事業協力会からの指定寄付を含めてバス代(2台分)を支援、6月に中日新聞の紙面(社会事業団岐阜支部だより)や岐阜市の広報紙を通じ参加者を募集した。

主催：岐阜市母子寡婦福祉連合会

- ・多治見市の母子父子家庭 東京ディズニーリゾートバス旅行を後援
(8月23日～25日、東京ディズニーリゾート)
主催：多治見市母子父子寡婦福祉会

- ・岐阜県母子寡婦福祉連合会第18回母子部研修会を後援
(10月20日、岐阜県福祉農業会館)

c. その他

- ・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月6日・中日新聞岐阜支社）
岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体23団体に対し250万円を、今年度の事業共催分担金・助成金として贈呈した。
- ・年末助け合い運動（11月25日～12月27日・岐阜支社管内）
岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。
※岐阜及び笠松刑務所への種苗の贈呈は、花いっぱい運動と合わせて取りやめた。

（4）災害援護に関する事業

- ・自然災害発生の援護活動
東日本復興支援金の受付を実施したほか、台風19号義援金については、中日新聞が行う義援金受付の窓口業務を行った。

（5）その他

- ・招待事業
大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
毎週 火・木	「心の病」家族電話相談(毎週火・木)(年間100回開催)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会(岐阜市)
年間	介護者のつとめ(年間 121回開催、2月まで、3月中止)	共催	認知症のひとと家族の会岐阜県支部	岐阜中日ビルほか(岐阜市)
毎月 第2水	薬物依存症医療電話相談(年間10回開催)	共催	岐阜ダルク	岐阜ダルク(岐阜市)
4/1～30	交通安全 反射たすき第3期配布	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県可茂版エリア
5/19	日盲連東海地区グランドソフトボール岐阜大会	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	揖斐川健康広場(揖斐川町)
6/7	岐阜県視覚障害者福祉大会	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	飛騨市文化交流センター(飛騨市)
6/16	ぎふ吃音のつとめ2019	後援	岐阜言友会	ハートフルスクエアG(岐阜市)
6/30	NPO岐腎協大会	後援	岐阜県腎臓病協議会	不二羽鳥文化センター(羽鳥市)
8/6	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)
8/20～9/2	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房(岐阜市)
8/23～25	岐阜市母子家庭東京ディズニーリゾートバス旅行	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーリゾート(千葉県)
8/23～25	多治見市父子母子家庭東京ディズニーリゾートバス旅行	後援	多治見市母子父子寡婦福祉会	東京ディズニーリゾート(千葉県)
8/25	聞こえのサポートフェア	後援	ぎふ難聴者協会	可児市中恵土地区センター(可児市)
9/8	慢性腎臓病対策 市民公開講座「医療講演」	後援	岐阜県腎臓病協議会	多治見市総合福祉センター(多治見市)
9/29	岐阜県特別支援学校体育連盟チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	岐阜メモリアルセンター長良川競技場(岐阜市)
9/29	岐阜県身体障がい者飛騨ブロック体育大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会	久々野総合運動場アリーナ(高山市)
9/23	岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	大垣市総合福祉会館(大垣市)
10/5・6	CPサッカー全日本選手権大会	後援	日本CPサッカー協会	長良川球技メドウ(岐阜市)
10/20	岐阜県母子寡婦福祉連合会母子部研修会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜県福祉農業会館(岐阜市)
10/20	「かがり火」要約筆記講習会	後援	ぎふ要約筆記サークルかがり火	岐阜市民福祉活動センター(岐阜市)
10/27	聴覚障害者の学習会「税」	後援	ぎふ難聴者協会	多治見市総合福祉センター(多治見市)
10/27	岐阜県身体障害者中濃地区体育大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会	可児市総合運動場(可児市)
10/27	岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	各務原総合福祉会館(各務原市)
11/12～25	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房(岐阜市)
11/16	第27回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)
11/16	東海地区盲学校 球技(ゴールボール)大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	県立岐阜盲学校(岐阜市)
11/17	全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター長良川競技場(岐阜市)
11/24	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	カトリック岐阜教会(岐阜市)
11/24	NPO岐腎協 腎移植講演会	後援	岐阜県腎臓病協議会	ソフトピアジャパンセンタービル(大垣市)

12/1	県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会	後援	県特別支援学校体育連盟	県百年公園(関市)
11/25~ 12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社、支局、通信局部
1/21~2/3	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房(岐阜市)
2/20	中日ロボラぎふ就学(職)支援金贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)

新しい社会的養育推進ビジョンを受け、児童養護施設・あおば館の今後10年の将来像を描く「社会的養育推進計画」をまとめ、県に提出した。将来的には、「小規模化かつ地域分散化」では、定員は、本体施設は子ども6人を単位として4ホームで24人、地域小規模は2施設で12人の計36人。地域小規模は、2021、22年に開設する計画。「高機能化」では、専門職と連携して養育の質を高める。「多機能化・機能転換」では、里親啓発・研修など里親支援のフォスティング事業に取り組み、将来的には一時保護ユニット、児童家庭支援センターの開設を目指す。地域の子育て支援センターの役割を果たせるようノウハウを蓄積する。

また、あおば館の本体施設もケアニーズが高い子どもが多くなることが想定され、児童心理治療施設わかば館との複合施設の強みを発揮できるよう努める。

(1) 安全安心・権利擁護

児童福祉施設は、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きならないように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り、対応に当たっている。月1回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。

被措置児童虐待防止に向け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わらないように、最優先事項として取り組んでいる。

(2) 問題行動・事故

児童相談センターと連携し支援を行った問題行動が、あおば館が3件、わかば館が8件(性問題3件、暴力行為4件、無断外出2件、窃盗2)起こった。

自転車の事故が、あおば館で1件、職員の不注意による幼児のケガが3件起こった。

それぞれ事案ごとに安全安心委員会で、背景の分析と再発防止を検討した。

(3) 苦情・意見

苦情意見箱には、児童から年間あおば館4件、わかば館33件の苦情と意見があった。その多くが児童間のトラブルの相談と訴え、次いで職員の対応への苦情であった。名前が記載してあるものや内容から特定できるものは、その都度職員が面談して調整を行った。

退園生とその保護者から第三者委員の岩田憲二日進中校長と大崎園生愛知淑徳大学教授に、「病院に連れて行ってくれなかった、自転車の練習をしてもらえなかった」などの学園の対応について苦情の電話があった。学園長より謝罪の連絡を入れるとともに、療育部長が自宅に出向き謝罪し、苦情の内容に1つ1つ丁寧に事情を説明した。あわせて大崎教授に聴取していただき妥結に至る。

（４）合同職員研修

4月(新年度の心構え) 5月(ポイント加算・両館第三者評価報告) 6月(家庭的養育ビジョンについて) 7月(社会的養育ビジョンの計画・熱中症・食中毒対策) 9月(中日新聞社会事業団における中日青葉学園の位置づけ) 10月(理事会・施設長会報告) 11月(インフルエンザ・ノロウイルス対策) 12月(深夜火災発生時の対応・緊急時の分校対応) 2月(被措置児童虐待研修報告) 3月(コロナウイルス対策)について、合同会議にあわせて研修を行った。

5、6月に2班に分かれて、児童養護施設「一陽」(福井県)の見学研修を行った。

1月『学習面で気になる子の支援について～LD疑似体験を通して～』と題し、ディスレクシア協会吉田優英さんより、障碍児の学習支援について学んだ。

2月『権利擁護について』元児童養護施設名古屋文化キンダーホルト施設長喜多一憲さんより、権利擁護の歴史的流れと子どもの意見表明の大切さを学んだ。

（５）ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れている。

▽「竹の子会」毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「園十会」月2回、葉牡丹、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い(児童インフルエンザ発症時は休止)▽「クローバー」月4回、大学生が小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」社会人が各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月、クリスマスリース教室、3月、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が7、12月、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動など。

（６）恒例行事

7月下旬に、目的別活動として、館別で行った。あおば館は、幼児、海、体験、川の4コース、わかば館は山、海の2コースで実施した。

青葉まつりは、コンパクトに学園の子どもが楽しめる「青葉交流会」として10月26日に行った。

クリスマス会は12月23日、愛知中央ライオンズクラブからの寄贈品を受けて実施、もちつき大会は12月30日に行った。

(7) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」は、新型コロナウイルスの感染防止のため、中止し、個別のホームでお別れ会を行った。

(8) 学園見学

6月 名古屋市名東区の民生委員・児童委員、10月 愛厚ならわ学園心理士一など自治体、施設関係者の見学のほか、退園生の支援を考える企業の方々の見学が相次いだ。

(9) 職員表彰

▽勤続表彰

あおば館 20年1人、15年1人、5年1人

わかば館 15年2人、5年1人

(10) 法人監査

小遣い帳や預かり金の管理については、2018年度と比べると管理状況はよくなったとの評価があったが、確認の押印漏れや、記帳と残額との不一致などがまだみられたため、徹底を確認。精算、申請の締め切りを守ることの徹底を図った。高校生の経費などでレシートがないものもあり、清算方法を再確認した。

(11) 施設整備

2019年1月から、わかば館の個室化工事を始め、3月までにあさぎの女子が引っ越した。もえぎの男子ホームは、4月に完成。1人部屋を2室から9室に増やした。また、浴室もユニットバスに変え、各ホーム2浴室とした。2ホームを全体では1人部屋19室、2人部屋8室。個室が増えたことで、トラブルが未然に防げるようになり、生活にゆとりが生まれた。

分校の特別教室棟などの増築工事が、12月から始まった。木造2階建てで、延べ床面積314.5平方メートル。体育倉庫、多目的室、美術室、理科室などが入る。2020年5月に引き渡し予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、設備や取付部品等の納入遅延が原因で工事が遅れている。現状、引き渡し日は未定。

(12) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。重い食物アレルギーのわかば館児童1人にはアレルギー食を用意しているが、通院しているアレルギー専門医の指導の成果もあり、食の改善が進んでいる。

(13) 大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館3人、あおば館退園生2人の計5人に支援金を給付した。

(14) 外部との関わり

学園長が、日進市社会福祉協議会の理事、愛知署連絡協議会委員を務めたほか、職員が日進市の要保護対策協議会の委員や名古屋市キャリア支援アドバイザーになるなど各関連機関・団体の委員や講師として参加し、地域の子育て支援、地域福祉支援の一翼を担っている。

11月、福祉フェスティバルにっしんに出展、パネルで学園紹介をした。

(15) その他

あおば館わかば館とも第三者評価の自己評価を実施した。医者や施設職員らでつくる「性の問題について考える会」の事務局を学園が務めている。中央児相の「現状分析」を実施した。両館で、職員の態勢や支援方法、これまでに発生した性的問題などを事例検討して、学園の運営の課題を研修した。

くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出すなど学園行事に参加したり、くらちゃんハウスへ職員を派遣するなど、ファミリーホーム支援連携をした。

児童養護施設あおば館

あおば館は、4月中舎(14人、12人)2ホームと小規模ユニット(8人)3ホームの定員50人でスタート。中舎は男子「けやき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」(女子)3階「ひのき」(男子)「さくら」(男女幼児)。

職員25人、パート職員4人が児童ケアに当たった。

(1) 子どもの入所実績、入学、卒業状況

あおば館は定員50人。この1年間に新たに4人(男子3人、女子1人)が入所、10人(男子6人、女子4人)が退所した。

2019年4月、小学校へ男子1人、中学校へ5人(男子2人、女子3人)、高校へ2人(男子1人、女子1人)がそれぞれ入学した。2020年3月、小学校を女子2人、中学校を男子3人、高校を3人(男子2人、女子1人)が卒業。中学校を卒業した2人は高校へ進学、高校を卒業した子どものうち3人は大学へ進学をした。

2019年度の延べ入所者数は16,429人。一時保護は56人。

(2) 性教育委員会

従来は、性問題発生に対する対応を中心にしていたが、2019年度から初めて、予防の観点を取り入れて小学生を対象に性教育を実施。清潔さを保ち、自分が大切な存在であることを自覚し、「透明バリア」による境界線を守ることをロールプレイなどで伝えた。

(3) 食育委員会

食事を通して子どもの情緒や育ちを育むことを目標とした。ホーム単位で、子どもと一緒に食事作りに取り組んだ。子どものリクエストメニューを実施。献立表を見る子どもが増え、食事を通じての会話が増えた。残食を減らすための支援に取り組んだ。

(4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人態勢で、カウンセリングやプレイセラピーなど個別心理療法を実施した。2019年度から、知能検査のバインランドⅡを実施。療育手帳取得の有無の参考資料としたり、支援の参考としたりした。

（５）個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として非虐待児童12人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるように関係調整を進めていくもので、3人が家庭復帰した。

保護者がいても帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

（６）退所者支援

退所後、就職で対人関係などの不適応から退職した人へ生活場所の確保、再就職の支援を実施。退所後も支援が必要な男女5人を継続して支援している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

（７）職員研修

職員の援助技術や知識の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、子どもの虹情報研修センターなどの各種研修に参加した。

（８）実習生

実習生は、保育実習43人、社会福祉援助技術実習8人、心理実習5人、介護体験10人を受け入れた。

（９）学習

高校進学を目指す中学生1人が近くの塾へ通い、学習指導を受けた。小学生10人が週2回、ボランティアが4人の協力で公文学習をした。学習障害がある中学生が、学習障害支援に取り組む方から個別の指導を受けている。

（10）スポーツ活動

8月の施設長会ソフトボール大会では、あおば館が単独でのチームができず、わかば館から“助っ人”を得て青葉学園チームとして2部に参加。準優勝した。

8月の施設長会卓球大会では、団体の部で準優勝、個人の部では中学生女子の部で2連覇した。

12月の施設長会フットサル大会では、中高生男子の部で優勝した。

2月の親善マラソン大会では、小学生低学年女子の部で、女兒姉妹が1、2

位となった。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」「家庭的養護の推進」の8項目で6ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動で、小学生6人、(希望者 男子1人、女子5人)が市場町側の子ども会に加入、キックベース大会、運動会、映画鑑賞、ボウリング、歓迎会に参加した。施設としての子ども会に対し、行事などで道具の貸し出しや送迎などの協力をした。

(13) 家庭的養護推進計画

推進計画の前期2019年度までに定員を50人とした、2020(令和2)年度以降は、厚生労働省の指針変更に伴って「社会的養育推進計画」として再計画。2020年は定員45人とし、10年後には本体定員24人、地域小規模2施設で12人と計画した。

(14) 里親支援

里親支援専門を配置し、養育里親の研修、実習や、里親サロンへの参加、里親への訪問活動を実施し、里親へのレスパイト支援などにあたった。1、2月に名古屋市内のイベントで、里親啓発に関する広告入りのティッシュを配る啓発活動をした。

児童心理治療施設わかば館

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)の2ホーム(定員35人)で子どもの生活を支えている。

副学園長兼館長、指導療育部長、指導課長以下、児童指導員と保育士14人、臨床心理士5人、看護師1人、非常勤職員3人で子どもの支援に当たっている。(医師、調理、事務も含めると計32人)。

「生活の質の向上を図るなかで未来に希望の持てる日常を取り戻す」を目標に掲げて臨んだ。無断外出、性的問題行動、自傷行為、児童・職員への暴力など厳しい対応に追われながら、職員のチームワークで子どもを支えることができた。

2019(平成31)年1月から4月にかけて大規模なリフォームを実施。「もえぎ」「あさぎ」それぞれ、2人部屋のうち4部屋と納戸を7部屋の個室にリフォーム。あさぎには宿直室の隣にスペースを作り1人部屋を追加した。リフォーム後はもえぎ(2人部屋=4部屋、個室9部屋)あさぎ(2人部屋=4部屋、個室10部屋)になる。また、複数で入る大浴場が男女それぞれ1か所だったものを、それぞれユニットバスに変え2か所に増やした。これにより、プライバシーの保護と個別対応が強化された。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに5人(男子4人、女子1人)が入所、5人(男子4人、女子1人)が退所した。31年4月、中学校へ4人(男子2人、女子2人)が入学した。2019年3月、小学校を5人(男子3人、女子2人)、中学校を4人(男子4人)、高校を1人(女子1人)が卒業した。

中学校を卒業した4人は、1人は普通高校、2人は特別支援学校高等部へ進学。1人は長期入院後のため、わかば館で療養し翌年受験とした。上記の3人はわかば館で入所を継続。1人は家庭復帰し自宅からの進学となる。高校を卒業した1人は家庭復帰し自宅から短大へ進学。

2019年度延べ入所者は11,865人。一時保護は4人(男子3人、女子1人)延べ155日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けて入所する子どもが増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職(常勤5人、非常勤1人)が、わかば館1階の治療棟で1回45分の個別の関わりを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづら

さに折り合いがつけられるよう心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるように整えた。

また、非常勤の精神科医2人には子どもとの面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から子どもとの関わり持ってもらい、子どもの状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(3) 家庭支援

子ども1人1人の特性に合った、治療・支援が行えるように、子ども1人に対し生活担当、心理担当、家族支援担当の職員を配置し、ケアプランを作成。よりきめ細かい支援が行えるようにした。

2019年度は3人が家庭復帰、1人があおば館への措置変更を果たした。

(4) 児童支援

入所児童の多くが心療科に定期的に通院していることから、医療機関との連携強化に努め、個々のケースに合わせてより専門的な視点で治療が行えるようにしている。

児童相談センターとも連携し、保護者への子育て支援プログラムの実施や、家庭復帰を目指し地元校や各支援者との関係者会議等も積極的に行い家庭復帰に役立てた。

里親の元へ措置変更をしたケースでは継続してレスパイトを行い、里親支援も行った。

日々の取り組みでは男女それぞれのホームで毎日その日を振り返る「もえぎ会議・ガールズミーティング」を継続して実施、子ども達の意見を言える場を設けている。

2019年度から「感覚あそび」を導入、子ども達のあそびに感覚統合の視点を取り入れ子どもたちの成長につなげられないかと模索中、2020年度も継続して行っていく予定。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師が、全国児童心理治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加した。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として新任研修1回、

合同研修1回、心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、伊藤課長が全国児童心理治療施設研修委員会、中部ブロック職員研修運営委員会は横井心理士が研修運営委員として活動した。

また、「性の問題について考える会」の事務局として、児童施設の性の見守りの向上を目的に運営を行った。

（6）実習生

実習生の受け入れでは、保育士実習23人、社会福祉士実習10人、教員免許特例介護等体験12人、看護実習46人の実習を行った。

（7）学習

高校受験については、個々の進路に応じた学習に取り組めるよう分校とも協力して個別対応を実施。女子2人、男子1人が高校に合格した。

名古屋外国語大学の英会話教室のボランティアの方々に定期的に来ていただき、外国人留学生等と触れ合う機会を作り、コミュニケーション能力を磨いた。

（8）生活訓練

希望者を募り、非常勤看護師に教えてもらいながら、「料理」、「園芸」、「手芸」のクラブを実施。

「セカンドステップ」は、暴力や暴言を減らし、安心安全な自己表現の促進を目的に、小学生高学年を対象に実施した。

（9）スポーツ活動

施設長会主催の夏季球技大会では、ソフトボール2部に1チーム参加し、楽しむことができた。卓球では団体戦は1回戦を突破して健闘した。フットサル大会では小学生・女子の部に参加し楽しむことができた。親善マラソンには小中学生の希望者が参加し全員完走を果たすことができた。

（10）和太鼓同好会

わかば館児童とあおば館児童の合同で練習をしており、施設長会主催の音楽の集いや福祉施設のイベント等に参加し太鼓演奏を披露している。

(11) 器楽演奏部

中学生以上の希望者でバンドを結成。2019年度は女子だけのガールズバンドを結成し、施設長会主催の音楽の集いで演奏を披露した。

(12) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉ポイント加算では「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」「被虐待児の受け入れ」「退所支援事業」「保護者支援事業」の8項目で8ポイントを取得した。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数＝(2020(令和2)年3月1日現在)

あおば館 (児童養護施設)	人員	担 当 職 務
館長(学園長)	1	運営管理
指導療育部長	1	統括(わかば館兼務)
指導課長	1	指導統括
指導係長	2	生活指導
事務員	1	
指導員・保育士	17	生活指導
主任心理士	1	心理治療(生活指導)
栄養士	1	栄養管理
給食係	3	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤	7	生活指導補助、心理治療、幼児教育、事務
小計	36	
わかば館 (児童心理治療施設)	人員	担 当 職 務
館長	1	運営管理
医師(非常勤)	3	医療業務
指導療育部長	1	統括(あおば館兼務)
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導(統括)
主任指導員・保育士	1	生活指導
指導員・保育士	10	生活指導
事務	1	経理事務
看護師	1	健康管理
心理係長	1	心理統括(生活指導)
主任心理士	1	心理治療(生活指導)
心理士	4	心理治療(生活指導)
給食係	4	給食実務
非常勤	4	生活指導補助
小計	34	
合計	70	

▽児童数(2020年3月1日)

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男 子	4	4	6	5	0	19
	女 子	4	12	4	5	0	25
わかば館	男 子	0	8	5	3	0	16
	女 子	0	7	5	5	0	17
計		8	31	20	18	0	77

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月	4日 日進中学校入学式(9人)
	5日 北小学校入学式(2人)、高校入学式(5人)
	9日 らあめん訪問
	25日 青葉分校スポーツフェスティバル
	27日 GW外出 わかばバドミントン大会、ケーキパーティー
	29日 「つつじの会」
5月15日、6月12日	職員研修施設見学 児童養護施設・一陽(福井県)
6月	1日 北小運動会
	22日 青葉学園見学会&交流体験
7月	13日 中日森友隊が学園周辺で伐採作業
22日～8月2日	目的別活動 山、海、川など両館で6コース
8月	2日 高校生交流会Ⅰ部(Ⅱ部8/28、29 Ⅲ部 12/8)
	19日 施設長会ソフトボール大会参加(青葉学園 2部準優勝)
	21日 施設長会卓球大会参加(あおば館A団体準優勝)
	31日 わかばまつり
9月	14日 ルーキーズ企業展を学園で開催
30日、10月1日	職員旅行(京都市) 2班=11月4、5日
10月	5日 韓国青年商工会焼肉訪問
	10日 日進中学校体育大会
	26日 青葉交流会
	31日 日進中学校文化祭 歌声の会
11月	9日 中部善意銀行 USJ招待
	15日 北小学校学習発表会
	17日 音楽の集い豊川大会に参加
	17日 日進健康福祉フェスティバルに参加
	21日 白山宮で七五三参り
	23日 JAL折り紙ヒコーキ大会(モリコロパーク)
	30日 青葉分校特別教室棟増築工事地鎮祭
12月	7日 NFDクリスマスリース教室
	14日 森友隊 伐採作業
	22日 スケート招待
	23日 クリスマス会
	25日 施設長会フットサル大会あおば館中高生男子の部優勝

	30日	もちつき大会
1月	4、19日	里親啓発活動 フィギュアスケート大会、飛行船演劇会 場で
	18、19日	施設長会伊那スキー村に参加
	10日～3月7日	あおば館各ホーム年度末旅行 ナガシマスパーランド、 スキーなど
	2日	施設長会親善マラソン大会に参加
	15日	テーブルマナー教室
1月	28日	高校卒業式
	1日	わかば館年度末旅行 ナガシマスパーランド
2月	3日	日進中学校卒業式
	19日	北小卒業式
	21日	日進ベタニヤ幼稚園卒業式
		※新型コロナウイルス感染防止対策のため「巣立ちの会」 を中止

主な行事の写真



らあめん訪問(4月9日)



目的別活動川ラフティング(8月2日)



施設長会ソフトボール大会(8月19日)



施設長会卓球大会(8月21日)



ルーキーズ企業展(9月14日)



青葉交流会(10月26日)



音楽の集い(11月17日)



分校学習棟新築地鎮祭(11月30日)



クリスマス会(12月23日)



フットサル大会(12月25日)

子育て短期支援事業

児童養護施設中日青葉学園あおば館では、日進市、東郷町と提携し、提携市在住の保護者が疾病等の理由により一時的に児童の養育が困難になった際に、該当児童を養育が再開できるまでの間、保護者の代わりに保護、養育を行う「子育て短期支援事業」を実施している。

2019年度に関しては、数年ぶりに利用希望がなかったため実績なしとなった。

今後についても、気軽に利用できるサービスとして、地域住民の子育てに関する社会資源として継続していきたい。

社会福祉充実計画

当法人では、平成30年度から厚生労働省より認可をうけ10か年にわたる社会福祉充実計画を策定。（表-1）

本年度は、計画の2年目として以下のとおりの事業を実施した。

（1）社会福祉助成事業

愛知県を中心に中部地域、関東地域の社会福祉事業実施団体に対し令和元年7月1日～9月15日に申請受付。児童養護施設や児童発達支援センター、児童館、就労継続支援B型などから申請があり、配分委員会で承認を受けた13事業に、総額1,292万円を助成した。

（2）児童心理治療施設 学習棟 特別教室棟建設工事

児童心理治療施設である中日青葉学園わかば館の児童が通う園内の分校では、理科室や美術室がなく、老朽化の進んだ旧職員宿舎で実験や実習の授業を行っており、専用の設備もないことから、特別教室棟を建設。理科室、美術室のほか一時保護児童等のための学習室やスクールカウンセラー用の相談室等も備える。

総工費81,415,000円で着工しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中国製の部品の多くが入手困難となり引き渡し日が未定。また同理由で仕様変更が必要となり費用の確定が困難なことから、来期での計上とした。

【表-1】社会福祉充実計画（総額4億2137万円）

（千円）

計画の種別	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目
社会福祉助成	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
施設整備	35,000	55,000	21,800	—	—
小 計	57,000	77,000	43,800	22,000	22,000
計画の種別	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目
社会福祉助成	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
施設整備	—	—	—	24,570	65,000
小 計	22,000	22,000	22,000	46,570	87,000

《施設整備》

児童心理治療施設個室化工事（1か年度年目）

児童心理治療施設学習棟特別教室建替工事（2か年度目）

児童養護施設小規模グループケア化工事（3か年度目、9か年度目）

児童養護施設地域小規模児童養護施設建設工事（10か年度目）

地域における公益的な取り組み

当法人では、中日青葉学園内にフリーダイヤルを設置し、社会福祉士、保育士、心理士などによる地域住民からの子育て相談を実施。

2019年度の利用実績は下表のとおり。

【新規相談件数】 総数 2件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【継続相談件数】 延べ件数 0件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【主な相談内容】 ※重複あり

子育て一般	発達相談	不登校	虐待	いじめ	その他
0	2	0	0	0	0

高額寄付(一般)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)敬称略、順不同

本部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
本多 英雄	名古屋市	石原住宅(株)	名古屋市
愛知日産自動車(株)	名古屋市	第一生命労働組合 名古屋総合支部	名古屋市
長谷川 とみ子	桑名市	松本三良記念福祉会	東海市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	JAあいち知多	常滑市
(公社)日本ダンス議会 中部総局	名古屋市	(公社)中部日本書道会	名古屋市
中央電気工事(株)	名古屋市	東郷産業(株)	名古屋市
犬飼 信雄	名古屋市	名古屋競馬(株)	名古屋市
林口 香代子	名古屋市	名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市
岡田 誠二	名古屋市	(株)真城	名古屋市
全ヤマナカ労働組合	名古屋市	加藤 好章	刈谷市
今池中学校昭和34年卒 同窓生一同	名古屋市	五月会	半田市
トヨタ紡織健康保険組合	刈谷市	名古屋トヨペット(株)	名古屋市
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	名古屋美術商協同組合	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	トヨタ紡織 飛躍の会・工の会・職長会	刈谷市
日本生命労働組合 名古屋南支部	名古屋市	子ども夢プロジェクト チャリティー大運動会	名古屋市
おおやま歯科医院	名古屋市	サンヨネ	豊橋市
知多信用金庫	半田市	サンヨネお客様	豊橋市
池田	碧南市	稲沢市職員互助会	稲沢市
名城大学付属高等学校	名古屋市	平松 利明	名古屋市
荒川 光夫	名古屋市	国際ソロプチミスト愛知ガーデニア	半田市
近藤産興(株)	名古屋市	東海マツダ販売労働組合	名古屋市
アスク環境開発(株)	名古屋市	名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市
協栄興業(株)	東海市	トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市
協栄会・協友会	東海市	萩原電気ホールディングス(株)	名古屋市
新東工業(株)	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村
学校法人栗本学園 名古屋商科大学	日進市	藤田医科大学病院	豊明市
尾西作家協会	一宮市	ネットヨタ中部(株)	名古屋市

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(一般)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
石川交通(株)	金沢市	石川近鉄タクシー(株)・同労働組合	金沢市
こばと保育園・第2こども園	小松市		

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
柴田 善三郎	浜松市	葵・高丘地区社会福祉協議会	浜松市
(公社)磐田法人会青年部会・女性部会	磐田市	浜松現代書作家クラブ	浜松市
浜松西高等学校中等部	浜松市	アベル株式会社	浜松市
浜松湖東高校生徒会	浜松市	叶地蔵奉賛会	浜松市
株式会社ユタカ技研 豊和会	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
七鵬会第二部	浜松市	浜松ロータリークラブ	浜松市
浜松仏教会	浜松市	第38回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市
第36回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	磐田市		

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
川崎野球協会本部審判部	川崎市	大鷲 清人	目黒区
「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市		

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
dupa美容協同組合	岐阜市	中部日本書道会岐阜支部	揖斐川町
岐阜県指定自動車教習所協会	岐阜市	中部日本書道会濃飛支部	高山市
矢島建設興業	岐阜市	水野 正伸	岐阜市
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	星屋 正	各務原市
岐阜ゾンタクラブ	岐阜市	酒井 義和	各務原市
岐阜信用金庫	岐阜市	酒井 恵美子	白鳥町
全日本ロータス同友会 岐阜県支部	岐阜市		

高額寄付(指定)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)敬称略、順不同

本部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
酒井 文雄	名古屋市	中日青葉学園
(税)のぞみ	名古屋市	中日青葉学園
(株)ナゴヤドーム	名古屋市	中日青葉学園
(株)大矢相互不動産	稲沢市	中日青葉学園
(株)メディカサトウ	名古屋市	中日青葉学園
大本山 成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
大本山 成田山名古屋別院大聖寺 索の会	犬山市	難病者激励金
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
水谷興業(株)	東海市	東日本復興支援金
むすび合う・しおの道 東日本大震災チャリティコンサートあすけ	豊田市	東日本復興支援金
(株)アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
JAあいち知多花き協議会	常滑市	東日本復興支援金
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株) 親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘 妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
西浦不動無量寺	蒲郡市	がん撲滅

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(指定)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)敬称略、順不同

東 海 支 部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
ネットヨタ浜松(株)懇話会	浜松市	交通遺児義援金

*匿名は省かせていただきました

岐 阜 支 部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	岐阜市母子寡婦福祉連合会
河村病院グループ夏まつり実行委員会	岐阜市	東日本復興支援金
CAN・DO・NET篠笛輝動	多治見市	東日本復興支援金

*匿名は省かせていただきました

東 京 支 部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
影山 照子	逗子市	東日本復興支援金
諏訪 芳江	荒川区	東日本復興支援金

*匿名は省かせていただきました

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

	所 在 地
本 部 事 務 局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市東区葉新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-7711 Fax. 053-421-5987
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315